

## 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 11 月 4 日

上場会社名 王子製紙株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 3861 URL <http://www.ojipaper.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠田 和久  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 武田 芳明 (TEL) 03(3563)1111  
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 11 月 11 日 配当支払開始予定日 平成 23 年 12 月 1 日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 2 四半期	611,411	6.9	33,101	7.5	23,525	△14.5	12,005	△9.9
23 年 3 月期第 2 四半期	571,735	0.1	30,804	△2.3	27,525	10.8	13,325	48.8

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 2 四半期 12,732 百万円 (— %) 23 年 3 月期第 2 四半期 △3,480 百万円 (— %)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 2 四半期	12.15	12.14
23 年 3 月期第 2 四半期	13.48	13.48

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 3 月期第 2 四半期	1,649,473	462,886	27.0
23 年 3 月期	1,620,927	455,998	27.1

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 2 四半期 445,362 百万円 23 年 3 月期 438,864 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 3 月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24 年 3 月期	—	5.00	—	—	—
24 年 3 月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,250,000	5.9	68,000	3.9	57,000	△5.4	28,000	13.7	28.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）王子 パペイス エスペシアイス 有限会社、 除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	1,064,381,817株	23年3月期	1,064,381,817株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	77,153,689株	23年3月期	76,484,868株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	987,787,324株	23年3月期2Q	988,231,862株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
「平成24年3月期 第2四半期決算説明参考資料」	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響により、混乱と停滞を余儀なくされましたが、サプライチェーンの復旧とともに生産活動が回復し、一部に復興需要なども見られました。一方で、海外経済の減速と、それを背景とした急激な円高が輸出産業の競争力低下を招くなどの懸念材料も多く、先行き不透明な状況が続きました。

紙パルプ業界におきましては、一般洋紙は震災影響による需要減少からの回復は限定的であり、低調に推移しましたが、板紙・段ボールなどの需要は、産業用途を中心に堅調に推移しました。コスト面では、チップ・重油・薬品などの原燃料価格の上昇傾向が続いています。この影響は、昨年度から収益圧迫要因となっており、原料輸入の円高メリットやコストダウン努力では吸収しきれない状況となっているため、下期からの製品価格修正へ向けた交渉を開始しました。

こうした状況の中、当社グループでは、海外においては成長するアジア需要の取り込みを図っており、かねてよりマレーシアの板紙・段ボール事業の拡大を進めてきましたが、8月にはマレーシアの段ボール製造販売大手である Harta Packaging グループを公開買付によって取得しました。さらに、9月にはブラジルのフィブリア社より感熱紙・ノーカーボン紙の製造拠点を取得し、商号を Oji Papéis Especiais Ltda. (王子 パペイス エスベシアイス 有限会社) としました。また、国内既存事業においては、最適な生産体制の構築を進めることにより固定費を中心としたコストダウンを図ってきましたが、さらなる施策として4月に富士地区における紙・板紙製造設備(抄紙機2台)の停止を実施しました。

当社グループは、経営環境の急激な変化に対応すべく、持続的成長に向けた事業構造転換に取り組んでおり、本日開示の「会社分割による純粋持株会社制移行に関するお知らせ」に記載のとおり、経営責任の明確化および意思決定の迅速化のため、平成24年10月からの純粋持株会社制への移行準備を開始しました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 611,411百万円(前年同四半期比 6.9%増収)、営業利益 33,101百万円(同 7.5%増益)、経常利益 23,525百万円(同 14.5%減益)、四半期純利益 12,005百万円(同 9.9%減益)となりました。

各セグメントの状況は、次のとおりです。

#### ○紙パルプ製品事業

##### ・板紙

段ボール原紙の販売は、全体的に需要が堅調に推移したことに加え、飲料・加工食品関連で震災後の在庫補充があったことなどから、増加となりました。

白板紙の国内販売は、高級白板紙・特殊白板紙・コート白ボールとともに、震災後の支援物資需要などもあり、前年を上回りました。

##### ・包装用紙

包装用紙の販売は、国内は震災影響による需要減もあり減少しましたが、輸出はアジア向け需要が堅調に推移したため増加し、全体では前年を上回りました。

##### ・一般洋紙

新聞用紙の国内販売は、震災影響による新聞の部数・ページ数の減で用紙需要が減少し、前年を下回りました。輸出も減少しました。

印刷用紙の販売は、国内は震災影響等の需要減少により、塗工紙・微塗工紙を中心に低調に推移し、輸出も減少しました。

##### ・雑種紙

雑種紙の販売は、品種によりばらつきはあるものの、全般的には国内・輸出ともに微増となりました。

#### ○紙加工製品事業

##### ・段ボール(段ボールシート・段ボールケース)

段ボールの販売は、震災影響により東日本を中心に需要の落ち込みがありましたが、ユーザーの西日本への生産シフト等により全体では前年並みとなりました。

##### ・その他(家庭用品・紙器・粘着紙他)

衛生用紙の販売は、ティシュペーパーは増加・トイレットロールは減少しました。

紙おむつの販売は、子供用はパンツ型・テープ型ともに減少しました。大人用は全品種で減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比し28,546百万円増加して、1,649,473百万円となりました。流動資産は、売掛金や棚卸資産が増加したことなどにより14,525百万円増加し、固定資産は、投資有価証券が増加したことなどにより14,020百万円増加しました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比し21,658百万円増加して、1,186,586百万円となりました。当第2四半期末の有利子負債は25,216百万円増加し、824,356百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比し6,888百万円増加して、462,886百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加7,062百万円、為替換算調整勘定（海外連結子会社等の純資産の為替換算に係わるもの）の増加2,554百万円で、その他有価証券評価差額金の減少2,301百万円です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、第2四半期までの実績および足もとの紙・板紙需要、原燃料価格の動向等を総合的に判断し、平成23年5月12日公表の予想を以下のとおり変更いたしました。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	1,250,000	62,000	57,000	28,000
今回修正予想（B）	1,250,000	68,000	57,000	28,000
増減額（B－A）	0	6,000	0	0
増減率（％）	0.0%	9.7%	0.0%	0.0%

売上高につきましては、前回発表から変更していません。営業利益は、コストダウンが順調に進捗していること、為替レートが想定を上回る円高となっていることなどにより、前回発表の予想を上回る見通しとなりました。経常利益・当期純利益は、為替差損などにより営業外損益が悪化し、営業利益の良化と相殺となる見通しのため、前回発表の予想を変更していません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、王子 パペイス エスペシアイス 有限会社の持分を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,393	30,039
受取手形及び売掛金	255,237	262,522
有価証券	636	693
商品及び製品	76,645	78,641
仕掛品	15,862	16,881
原材料及び貯蔵品	51,724	57,054
その他	47,125	48,233
貸倒引当金	△3,042	△2,957
流動資産合計	476,584	491,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	192,035	190,869
機械装置及び運搬具（純額）	305,743	288,146
土地	231,037	231,279
その他（純額）	162,443	171,886
有形固定資産合計	891,258	882,181
無形固定資産		
のれん	9,369	10,741
その他	10,234	9,830
無形固定資産合計	19,604	20,572
投資その他の資産		
投資有価証券	172,421	195,335
その他	68,470	63,810
貸倒引当金	△7,412	△3,536
投資その他の資産合計	233,479	255,609
固定資産合計	1,144,342	1,158,363
資産合計	1,620,927	1,649,473

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	197,419	195,412
短期借入金	219,331	229,784
1年内償還予定の社債	20,120	160
未払法人税等	10,489	8,670
引当金	2,349	1,602
その他	65,098	66,208
流動負債合計	514,808	501,837
固定負債		
社債	80,300	120,400
長期借入金	479,388	474,012
引当金		
退職給付引当金	47,792	48,478
役員退職慰労引当金	1,820	1,565
環境対策引当金	1,833	1,810
特別修繕引当金	126	123
引当金計	51,572	51,977
その他	38,858	38,359
固定負債合計	650,119	684,748
負債合計	1,164,928	1,186,586
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	103,880	103,880
資本剰余金	113,018	113,017
利益剰余金	292,090	299,152
自己株式	△43,040	△43,287
株主資本合計	465,948	472,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,839	3,537
繰延ヘッジ損益	355	△203
土地再評価差額金	3,557	3,548
為替換算調整勘定	△36,837	△34,283
その他の包括利益累計額合計	△27,084	△27,400
新株予約権	284	319
少数株主持分	16,850	17,205
純資産合計	455,998	462,886
負債純資産合計	1,620,927	1,649,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	571,735	611,411
売上原価	436,798	472,328
売上総利益	134,937	139,082
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	56,158	56,638
その他	47,974	49,343
販売費及び一般管理費合計	104,133	105,981
営業利益	30,804	33,101
営業外収益		
受取利息	282	167
受取配当金	1,787	1,774
持分法による投資利益	2,860	748
その他	1,991	1,357
営業外収益合計	6,921	4,047
営業外費用		
支払利息	5,392	5,235
為替差損	2,671	4,475
その他	2,134	3,912
営業外費用合計	10,199	13,623
経常利益	27,525	23,525
特別利益		
特別利益合計	185	1,005
特別損失		
投資有価証券評価損	1,425	2,353
特別退職金	720	1,058
固定資産除却損	1,445	882
その他	2,955	1,379
特別損失合計	6,546	5,673
税金等調整前四半期純利益	21,165	18,856
法人税、住民税及び事業税	8,320	7,749
法人税等調整額	△525	△1,431
法人税等合計	7,794	6,317
少数株主損益調整前四半期純利益	13,370	12,538
少数株主利益	44	533
四半期純利益	13,325	12,005



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,370	12,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,893	△2,194
繰延ヘッジ損益	△464	△542
為替換算調整勘定	△7,972	2,540
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,520	390
その他の包括利益合計	△16,850	193
四半期包括利益	△3,480	12,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,830	11,697
少数株主に係る四半期包括利益	△650	1,034

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	21,165	18,856
減価償却費	39,127	36,780
のれん償却額	763	346
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△521	250
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	506	1,089
受取利息及び受取配当金	△2,069	△1,941
支払利息	5,392	5,235
為替差損益 (△は益)	1,957	3,070
持分法による投資損益 (△は益)	△2,860	△748
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,425	2,353
固定資産除却損	1,445	882
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,305	△5,603
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,429	△6,753
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,073	△1,936
その他	△8,818	△905
小計	53,853	50,976
利息及び配当金の受取額	2,212	2,895
利息の支払額	△5,406	△5,213
法人税等の支払額	△10,585	△9,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,074	39,142
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△41,255	△26,031
有形及び無形固定資産の売却による収入	218	968
投資有価証券の取得による支出	△245	△487
投資有価証券の売却による収入	95	210
貸付けによる支出	△6,909	△1,000
貸付金の回収による収入	2,441	754
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△12,851	△29,837
その他	363	△589
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,143	△56,014

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12,005	3,324
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△11,000	—
長期借入れによる収入	—	1,578
長期借入金の返済による支出	△3,625	△4,421
社債の発行による収入	39,791	39,990
社債の償還による支出	△20,000	△20,060
自己株式の取得による支出	△39	△18
配当金の支払額	△4,949	△4,941
その他	△385	△631
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,797	14,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,273	119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,546	△1,930
現金及び現金同等物の期首残高	41,936	31,933
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,389	30,004

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙パルプ 製品事業	紙加工 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	282,837	224,309	507,147	64,588	571,735	—	571,735
セグメント間の内部 売上高又は振替高	75,971	4,446	80,418	78,659	159,078	△159,078	—
計	358,809	228,756	587,566	143,248	730,814	△159,078	571,735
セグメント利益	23,084	7,815	30,899	2,105	33,004	△2,200	30,804

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材・緑化事業、不動産事業、コーンスターチ事業、機械事業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△2,200百万円には、内部取引に関わる調整額773百万円、のれんの償却額△763百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,293百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費です。
3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙パルプ 製品事業	紙加工 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	270,643	230,018	500,662	110,748	611,411	—	611,411
セグメント間の内部 売上高又は振替高	82,273	5,840	88,113	82,792	170,906	△170,906	—
計	352,917	235,858	588,775	193,541	782,317	△170,906	611,411
セグメント利益	19,966	7,738	27,704	5,752	33,456	△355	33,101

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材・緑化事業、不動産事業、コーンスターチ事業、機械事業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△355百万円には、内部取引に関わる調整額2,624百万円、のれんの償却額△910百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,019百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費です。
3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 平成24年3月期 第2四半期決算説明参考資料

## ◎経営成績

(億円)

	第2四半期(累計)		通期(予想)		
		対前年同期増減		対前年増減	
売上高	紙パルプ製品事業	2,706	△122		
	紙加工製品事業	2,300	57		
	報告セグメント計	5,006	△65		
	その他	1,108	462		
	計	6,114	397	12,500	699
営業利益	331	23	680	26	
経常利益	235	△40	570	△32	
四半期(当期)純利益	120	△13	280	34	
為替レート	79.8	△9.2	78.4	△7.3	

\*下期 77.0円/US\$前提

減価償却費(億円)	368	△23	764	△32
設備投資額(億円)	251	△97	576	△125

\*一部在外子会社については、親会社の決算期ベースに補正しています

## ◎連結就業人員

	平成23年9月末		平成24年3月末(予想)	
		23年3月末比		23年3月末比
期末就業人員数(人)	24,226	2,239	24,228	2,241
(内、国内)	17,594	△143	17,432	△305

## ◎連結財政状態

(億円)

	平成23年9月末	
		23年3月末比
総資産	16,495	285
純資産	4,629	69
有利子負債残高	8,244	253

## ◎連結キャッシュ・フロー

(億円)

	第2四半期(累計)	
		対前年同期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	391	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△560	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	148	30